

【 江東区 】胃がん検診（胃部エックス線検査） 平成28年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況>

対象年齢（50歳以上：隔年） ※胃部エックス線検査は40歳以上に毎年実施可	している
検査方法（胃部エックス線検査）	している
検査方法（胃内視鏡検査）	していない

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	91,137	102,129	193,266
【東京都調査による対象者率(区部)：58.7%】			
実際の受診者数	1,871	2,661	4,532

※<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>は平成29年度の状況である

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	5.2%	6.8%	6.1%
要精検率	11%以下	14.2%	8.0%	10.6%
精検受診率	70%以上	68.8%	77.1%	72.5%
精検未把握率	10%以下	28.2%	19.2%	24.2%
精検未受診率	20%以下	3.0%	3.7%	3.3%
陽性反応適中度	1.0%以上	3.0%	0.5%	1.9%
がん発見率	0.11%以上	0.43%	0.04%	0.20%

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	ペプシノゲン検査及びヘリコ バクターピロリ抗体検査

<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

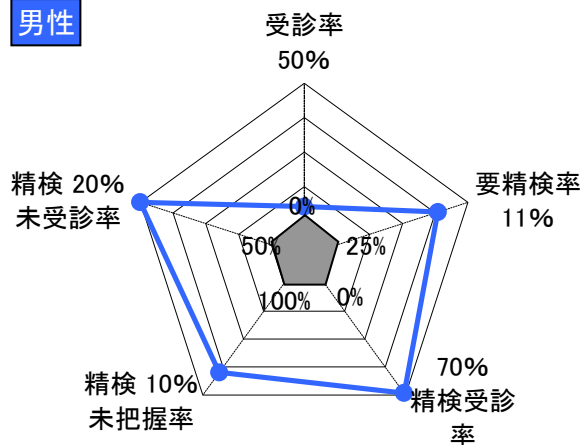
プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」

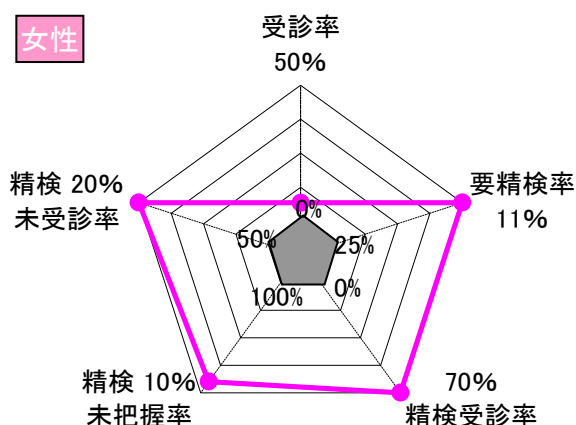
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

[http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/
data/kaisetu.html](http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html)

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

【 江東区 】 肺がん検診 プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく肺がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（胸部X線検査及び喀痰細胞診）	している

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	138,143	146,928	285,071
【東京都調査による対象者率(区部)：65.5%】			
実際の受診者数	2,252	3,035	5,287

<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

※<国の指針に基づく肺がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>は平成29年度の状況である

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	2.5%	3.2%	2.8%
要精検率	3%以下	1.7%	1.0%	1.3%
精検受診率	70%以上	74.4%	75.9%	75.0%
精検未把握率	10%以下	23.1%	24.1%	23.5%
精検未受診率	20%以下	2.6%	0.0%	1.5%
陽性反応適中度	1.3%以上	5.1%	0.0%	2.9%
がん発見率	0.03%以上	0.09%	0.00%	0.04%

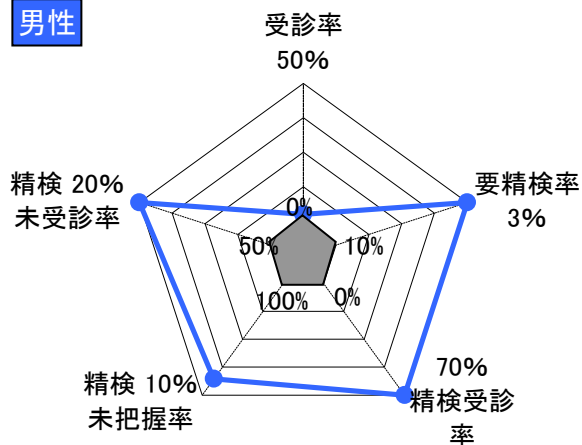
プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

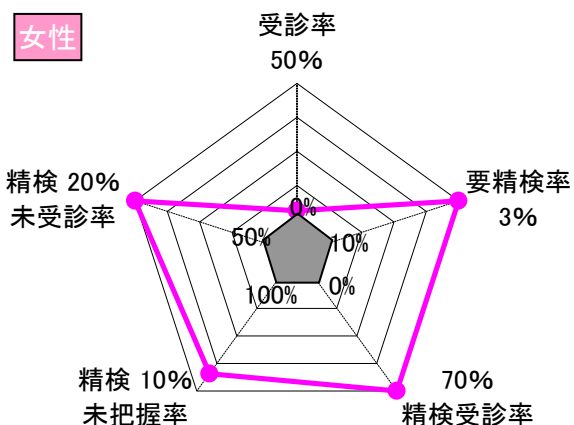
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<精検未把握率>

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。

【江東区】大腸がん検診 平成28年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（便潜血検査（二日法））	している

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	138,143	146,928	285,071
【東京都調査による対象者率（区部）：62.3%】			
実際の受診者数	16,076	29,185	45,261

<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

※<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>は平成29年度の状況である

<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	18.7%	31.9%	25.5%
要精検率	7%以下	9.9%	6.8%	7.9%
精検受診率	70%以上	63.6%	65.9%	64.9%
精検未把握率	10%以下	19.1%	16.6%	17.7%
精検未受診率	20%以下	17.3%	17.6%	17.4%
陽性反応適中度	1.9%以上	3.0%	2.7%	2.9%
がん発見率	0.13%以上	0.30%	0.19%	0.23%

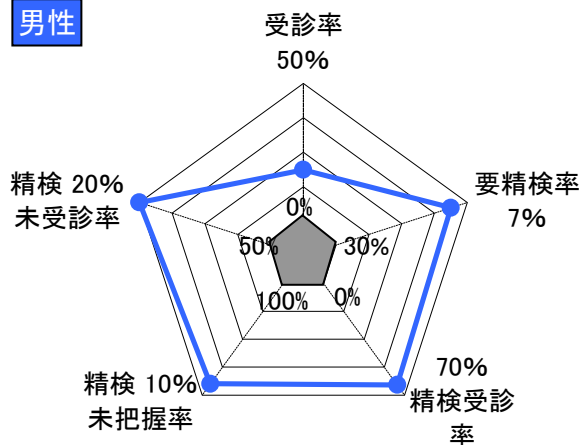
プロセス指標についての解説

リンク先：「とうきょう健康ステーション」>

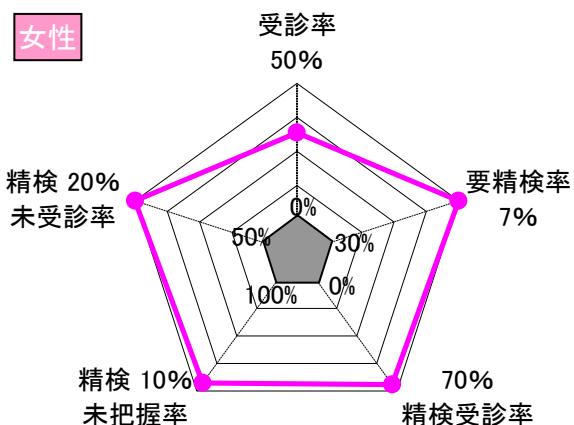
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

【 江東区 】 子宮頸がん検診 平成28年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況>

対象年齢（20歳以上：隔年）	している
検査方法（細胞診）	している

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		213,560	
【東京都調査による対象者率(区部)：66.3%】			
実際の受診者数		18,377	

<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

※<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>は平成29年度の状況である

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		26.2%	
要精検率	1.4%以下		1.2%	
精検受診率	70%以上		72.6%	
精検未把握率	10%以下		26.0%	
精検未受診率	20%以下		1.3%	
陽性反応適中度	4.0%以上		1.8%	
がん発見率	0.05%以上		0.02%	

プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

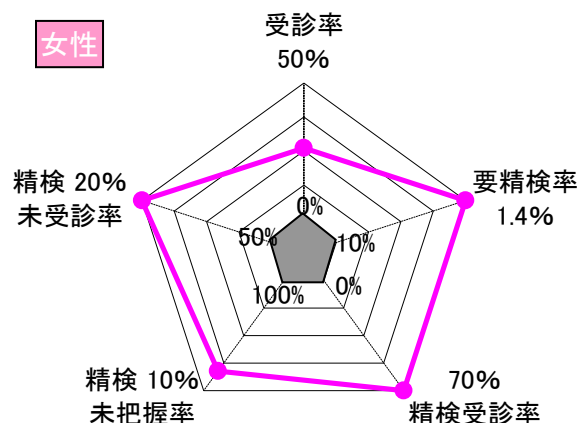
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

【評価結果】

<受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。



<精検未把握率>

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。

【 江東区 】 乳がん検診 プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上：隔年）	している
検査方法（マンモグラフィ）	している

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		146,928	
【東京都調査による対象者率(区部)：66.3%】			
実際の受診者数		14,681	

<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

※<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>は平成29年度の状況である

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		29.3%	
要精検率	11%以下		10.0%	
精検受診率	80%以上		82.2%	
精検未把握率	10%以下		11.6%	
精検未受診率	10%以下		6.2%	
陽性反応適中度	2.5%以上		3.6%	
がん発見率	0.23%以上		0.36%	

プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

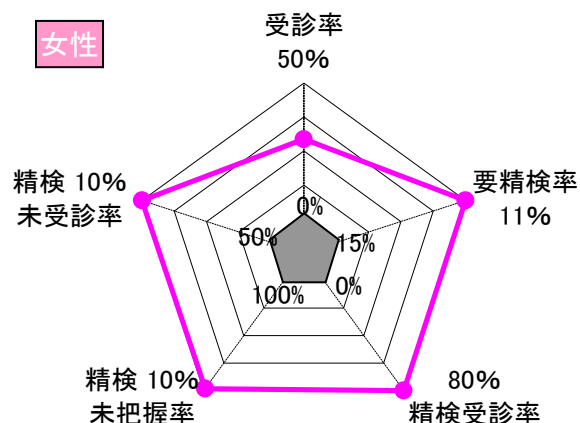
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

【評価結果】

<受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。



<精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。